

# 令和4年度 調査研究委員会事業報告

## 1. 活動テーマ

会員による研究活動の推進

## 2. 目的

調査研究事業をとおして保健師の専門性を確保し、保健師の資質向上と保健師業務に係る課題に対して、全国保健師長会調査研究事業（独自事業）の実施により、保健師活動の専門性を高めた活動の推進を図る。

## 3. 実施内容

回	時期	場所	内容
1	令和4年 4月22日（金）～ 5月16日（月）	メール会議	第1回調査研究委員会 (1) R3年度調査研究事業について (2) R4年度調査研究事業について
	12月末～1月	メール会議	2023年度（令和4年度）調査研究事業 募集要綱作成について
	令和5年 1月中旬	メール会議	災害時保健活動特別委員会の実施する アンケート調査（案）へのコメント作成
2	令和5年 3月19日（日）	オンライン 開催	第2回調査研究委員会 (1) R5年度調査研究事業の選定 (2) R4年度調査研究委員会報告書への 意見について（案） (3) その他

## 4. 結果・課題

令和4年度は、持続する新型コロナウイルス感染症拡大に伴い現場業務繁忙により応募は1件となった。求められる保健師活動を推進するための課題は多く、多くの会員に保健師のリーダーとして必要な研究に積極的に取り組んでもらえるための工夫が必要。来年度の募集要項には研究分野「保健師活動の推進に関するもの」に「新型コロナウイルス感染症による地区活動への影響を含めた健康格差に関すること」を新規に追加した。

この5年は人材育成等、類似するテーマの応募が多かったが、本年度は新型コロナウイルス感染症に対峙した保健師活動について、幅広い取り組みとなっており、今後の記録としても保存して調査結果を周知していく必要あり。

## 5. 委員

- 委員長 吉田 知可 大分県西部保健所地域保健課 疾病感染症対策班 主幹  
福原 円 栃木県小山市健康増進課 課長  
渡邊千鶴子 埼玉県幸手保健所保健予防推進担当 担当部長  
畑農 文 福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課 参事  
(新型コロナウイルス感染症対策本部事務局)
- オブザーバー 田高 悦子 北海道大学大学院 保健科学研究所 創成看護学分野 教授  
オブザーバー 北岡 英子 湘南鎌倉医療大学 看護学部公衆衛生看護学領域 教授